

「結婚から子育てまで“ぐうっと”応援するまち」ブランディング緊急プロジェクト

【資料3】

「地方創生」人口減少を克服し、活力あるまちを維持 → 子育て世代に選ばれるまち → 将来子育て世代となる若者へのアプローチ
従来の出産や子育てにかかる事業展開に加え、移住・定住や結婚支援にかかる事業を展開

結婚～子育てにかかる事業と、市民の満足度を積極的に市内外にPR

- 子育てと仕事が両立できる環境への満足度【H26 29.2%→H29 42.7%】
- 安心できる医療体制への満足度【H26 45.6%→H29 52.5%】
- 子どもの見守りやパトロールなどの安全対策への満足度【H26 51.3%→H29 62.3%】
- 就学前教育の内容への満足度【H26 47.4%→H29 54.2%】
- 青少年の健全な育成への満足度【H26 42.8%→H29 51.4%】

多様な生き方が尊重される中で、

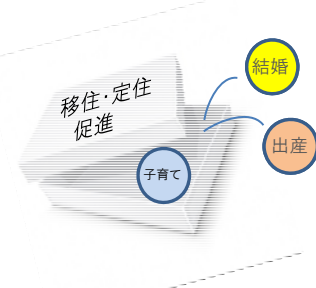
結婚や子育てする「自分の姿」を夢見る人を応援

- 加古川市の未来を見据え、結婚、子育て世代に選ばれるまちを確立
- 若い世代の減少を食い止め、経済的・社会的効果をすべての世代に還元
- 結果的にすべての世代に選ばれるまちとして正のスパイラルを生み出す

【プロジェクトの概要】

本市が総合戦略に基づき実施してきた地方創生に資する事業や取り組みを、従来のシティプロモーションの成果を効果的に活用し、市民と行政の協働により戦略的、大々的に打ち出していく。

本来の施策目的だけにこだわらず、副次的に結婚から子育てまでを支援する事業の情報を一元化し、3区分（仮）【①安心して結婚するには？ ②安心して出産するには？ ③安心して子育てするには？】にカテゴリ化して一連の事業を「移住・定住促進」の枠でパッケージ化し、「加古川市にはどんなサービスがあるの？」という疑問に効果的に対応していく。



ロゴの民間活用
の促進を検討

「結婚から子育てまで“ぐうっと”応援するまち」ブランディング緊急プロジェクト

【次世代の若者に夢を】

①

【安心して結婚するには？】

②

【安心して出産するには？】

③

【安心して子育てするには？】

④

【ブランディングには？】

⑤

【既存事業】を②～④にカテゴリ化

- 【一例】
- ・インターンシップによる働き方支援
 - ・不妊、不育治療費の助成
 - ・保育環境整備
 - ・子育て世代包括支援センター設置
 - ・放課後児童クラブの充実
 - ・中学校区連携ユニット1 2
 - ・見守りカメラ、見守りサービス など
 - ・乳児家庭全戸訪問
 - ・子育てプラザ

今までのシティプロモーションの成果を活用して事業を効果的にPR

※本来の事業目的としてPRするだけでなく、副次的に結婚～子育ての支援に結びつく事業としても積極的にPR

※平成30年度以降の新規事業も積極的にPR（地方創生推進交付金等の積極的活用）

※プロジェクト期間 H30～32年度 総合戦略の計画期間がH31年度までのため、H32年度はKPIの達成状況等を元に、地方創生関連事業の総点検も実施